勉強した日＿＿月＿＿日

6年で習ったこと

国語 10 物語を読む

/100

めあて ● 場面の情景を想像しながら、登場人物の気持ちをとらえることができる。

★ 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

著作権の関係上、引用文の掲載を控えさせていただいております。

1 「わたし」が、甲子園の土を捨てるときの気持ちを、どのように表現していますか。〔一つ10点(20)〕

- わたしの父への小さな（反発）が一気に（爆発）した。
- 甲子園の土のすばらしさを証明できなくなり、（笑いだしたい）気持ちになった。
- もう、父がえらそうに見えなくなると思うと、心が（晴れ晴れと）してきた。

2 甲子園の土を捨てて、「わたし」は、どんな気持ちになりましたか。〔一つ10点(20)〕

（庭の土の中から、甲子園の土をより分ける(行動)。）

3 「むだな作業」という言葉について答えましょう。〔一つ10点(20)〕

①「わたし」のどんな行動のことをいっていますか。

（父の心――ほこりや、自信や、かがやかしい思い出まで捨ててしまったと思ったから。）

②「わたし」は、どんな気持ちから、そのような行動をしたのですか。

（とんでもないことをしてしまったという後悔(の気持ち)。）

4 「わたし」が……のような気になったのは、土といっしょに何を捨てたと思ったからですか。〔10〕

（父の心――ほこりや、自信や、かがやかしい思い出まで捨ててしまったと思ったから。）

5 「意外なことに」と書いてありますが、「わたし」は、父がどうするだろうと予想していたのですか。〔10〕

（とてもおこるだろうと思っていた。）

6 ♥5 父は土をとても大切にしていました。土を捨てられたのに、父が明るい顔をしていたのは、なぜですか。一つに○をつけましょう。〔10〕

（○）昔の思い出よりも大事なことに気づいたから。

（　）がっかりしていることを知られたくないから。

（　）甲子園の土は、いつでも手に入るものだから。

7 考え方 「甲子園の土に代わるもの」とは、どのようなものですか。文章中の三字の言葉で答えましょう。〔10〕

♥6 ラベルをはがした理由を考えましょう。

自分が（ほこり）に思えるもの。

たいせつ 中心人物の心情が、周りの人物との関係の中で、どうゆれ動いているかを想像しながら読みましょう。

勉強した日＿＿月＿＿日

6年までに習ったこと

国語 11 まとめ(漢字と言葉)

/100

めあて 6年の夏休みまでにならった漢字や言葉がわかる。

1 ――の漢字の読みがなを書きましょう。〔一つ5点(20)〕

①処分する（しょぶん）　②私鉄に乗る。（してつ）

③宣言する（せんげん）　④各国の首脳。（しゅのう）

2 漢字を書きましょう。〔一つ5点(20)〕

①洗面所（せんめんじょ）　②簡単な計算。（かんたん）

③臨時列車（りんじ）　④大切な存在。（そんざい）

3 ――の言葉を、漢字と送りがなで書きましょう。〔一つ5点(10)〕

①おさないころ。〔幼い〕

②車からおりる。〔降りる〕

4 〔も・こそ・しか・ほど〕から、（　）に合う言葉を選んで書きましょう。〔一つ10点(20)〕

①五百円持っていたが、四百円の本を買ったので、百円（しか）残っていない。

♥①たった百円という気持ちを表しています。

②昨年は勝てなかったが、今年（こそ）勝ち進んで優勝しよう。

5 〔　〕の二つの言葉を組み合わせて複合語を作り、（　）に書きましょう。〔一つ10点(20)〕

例 犬が庭を〔かける・回る〕。　犬が庭を（かけ回る）。

①うさぎは〔とぶ・はねる〕。　うさぎは（とびはねる）。

②しずくが〔こぼれる・落ちる〕。　しずくが（こぼれ落ちる）。

6 ――の言葉を敬語に直して、文を書き直しましょう。〔10〕

お客様に、夏みかんをもらった。

（お客様に、夏みかんをいただいた。）

♥「いただいた」は、けんじょう語です。